



豊里

スキーとそり遊びで雪山満喫 2月20日

ときめきキッズクラブ第3回学習会「そり遊び・スキー教室」(豊里教育事務所主催)は、大崎市鳴子のオニコウベスキー場で開催され46人が参加しました。

参加者は、そり遊びとスキーに分かれ、スキーは指導員から一人一人丁寧に指導を受けました。そり遊びは、豊里町ジュニアリーダーサークル「赤い鳥」のメンバーにお世話してもらいながら実施。思っていたよりもスピードが出るため途中で転倒しても笑いながら何回も滑りました。

世代つなぐレクリエーション 2月14日

善王寺コミュニティセンターを会場に「吉田地区第19回世代間交流レクリエーション大会」が開催され、幅広い年代層約350人が参加しました。今年もユニークな種目が多数企画され、老若男女の笑い声が会場内に響き渡りました。親子5人で参加した岡崎満さん(山吉田行政区)は「誰もが楽しめる競技がたくさんあり、3歳の息子も大喜び。最後の抽選会も周りのじいちゃんばあちゃんと一緒にドキドキしながら楽しめました」と笑顔で語ってくれました。



米山



迫

踊りや餅つきでにぎわう一日 2月28日

佐沼地区コミュニティ推進協議会(千葉成幸会長)は迫公民館を会場に佐沼地区コミュニティ祭りを開催。子どもからお年寄りまで約800人が訪れました。

祭りでは、各町内会の演芸発表のほか、作品展示・工作体験などが催されました。お昼には公民館の玄関前で餅つきを披露。出来立ての餅とほっと汁を来場者に振る舞いました。冬晴れの空の下、祭りは大盛況となり、来場者は楽しい時間を過ごしました。



石越

スポーツ通し青少年の育成を 2月13日

青少年の健全育成を目的に、青少年のための登米市民会議石越支部と石越町子ども会育成協議会の「合同会員研修会」が石越体育センターなどを会場に開催。約60人が参加しました。今年ソニー仙台の片桐幹雄氏を講師に招き、「スポーツを通しての青少年の健全育成」をテーマに、簡単にできる運動や、スライドを使った講話を受けました。

参加者は、現代の子どもとスポーツの関わりや、子どもと接する上で大事なことなど、真剣に耳を傾けていました。

空高く舞い上がる自慢のたこ 2月7日

第53回とよま凧あげ大会は北上川右岸堤防を会場に開催されました。

この大会は手作りのたこを通して、市民相互の親睦を図るとともに親と子のふれあいを深めることを目的に、毎年この時期に開催しています。

当日は、晴天にも恵まれ、透き通った青空の中「たこたこ揚がれ!天まで揚がれ!」と、空高く舞い上がる自慢のたこを見ながら、たこ揚げ大会を楽しみました。



登米

餅で雪道の安全運転呼びかけ 1月31日

冬道の積雪や凍結などによる交通事故防止の注意喚起を目的に「交通安全餅餅キャンペーン」が実施されました。南方地区交通安全指導隊と佐沼地区交通安全協会南方支部の共催で、登米みなみ商工会南方支所前の県道交差点で「冬道の安全運転 1・2・3運動」を啓発するため、「気もちにゆとりをもちましょう」のテーマで、ニンジン、カボチャ、ホウレン草で信号機と同じ3色に加工した餅を配りながら、通りかかる自動車の運転手に安全運転を呼びかけました。



南方



東和

「よそ者」目線で地域を活性 2月4~9日

関西の大学生が米川地域を訪れ、伝統行事に参加したり、地元住人と交流したりし、「よそ者」目線で地域活性化策を提言してもらう「クール米川プロジェクト」。平成25年秋から始まり、今回は5泊6日の日程で滞在。地域住民と語る会では「米川の水や食べ物をインターネットでPRする」などの提言がありました。参加住民は「地域の気づかなかった特産物があることがわかった」と地域活性化につながるヒントを得る大きな収穫となりました。



津山

福を願い横山不動尊で豆まき 1月31日

横山不動尊の節分豆まきは、横山不動尊境内で開催され、子どもからお年寄りまで多くの方が詰め掛けました。

かみしも姿で登場した関係者が太鼓の音に合わせて「福は内、鬼は外」の元気な掛け声で落花生の入った豆袋をまくと、訪れた人たちは歓声を上げながら多くの福を呼びこもうと豆袋を拾っていました。まかれた豆袋には「福豆」が入っていて、拾った人には不動尊でご祈禱された福升や福飴などの縁起物が贈られました。

みんなで作って風と遊ぼう! 2月21日

石森コミュニティ運営協議会(渡邊義昭会長)は、石森地域づくり事業「いしのもり地域づくり実践プロジェクト」の一環として「凧づくり凧あげ大会」を開催。石森在住の子どもから大人70人が参加しました。骨組みから手づくりするたこづくりは、大人でも大変な作業ですが、3時間ほどでオリジナルのたこが完成。この日は強風のため外で揚げることができず、体育館の中で試し揚げをしました。子どもたちは自分の作ったたこを揚げ喜んでいました。



中田